



小野 良二社長



狩野 剛一取締役

長谷川鉄工(社長)小野良二氏、本社・大阪市港区波除1-4-39)の海外事業は、主に産業用冷凍機の輸出が軸。海外の販売代理店を通して多様な国・地域で、確実に「Surely」刻印のある産業用冷凍機を輸出し、アジア圏、欧米、豪州、中東、アフリカなど、世界の国・地域のロードチェーン(CC)を下支えしている。冷凍機

の設置、保守点検、整備、修理技術を持つ有力販売代理店網を世界の国・地域に張り、高性能で堅牢な冷凍機の供給にとどまらず、設計・施工などの技術支援や、現地販売・工事受注に資する営業支援、技術者を育成する人材支援に至るまで包括的なリソースを注ぐ。現地代理店との協業・共生が成り立つビジネスモデルを構築している点が特長だ。昨年来の海外事業はベトナムでの冷凍機輸

出台数が高伸びしているほか、インドネシアでの冷凍プラントや製氷プラントの技術・営業支援事業が加速度を増している。長谷川鉄工は国産第一号の横置単筒複動式アンモニア(NH3)圧縮機を開発した圧縮機メーカー。自社開発の圧縮機をユニットに仕上げた産業用冷凍機を取りそろえ、超低温域を含む冷熱創出需要にこたえている。マグロ漁船用冷凍機分野では世界トップシェア。その技術を応用展開し、同社は国内外の陸上CC分野でも産業用冷凍機の納入実績や、冷熱プラント・製氷プラントの設計・施工実績を豊富に抱える。今期(2020年9月)

期の海外事業動向について小野社長は「上半期を終えた時点で、現地代理店から寄せられる情報としてベトナム、インドネシア、タイ、モンゴル、オーストラリアなどは総じて手応えのある案件

が多く寄せられている。3月から今月にかけては世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症拡大も影響がゼロではないが、5月初旬の段階では当初予定の冷凍機輸出分は大きな問題なく出荷できている。新型コロナウイルス禍でも、お客様にご迷惑をお掛けしないよう、冷凍機の生産・供給力を維持するために精度の高い需要予測と、当社

が多くの商談が前に進む。別途、日産300ト規模の製氷プラントの特注案件も浮上。既に受注のめどを付けるなど、緒に就いてきた感がある。これらの案件では、長谷川鉄工も設計・施工管理面でスーパーバイザーを務める予定。今期の海外事業はインドネシアに営業の矛先が向いている。小野社長は今期の先行きに関して「新型コロナウイルスの影響がわれわれの業界にもジワジワと表れ、お客様の設備投資も鈍化するとみている」と言明。ただ、こうした中にある「成長路線を歩む戦略を止めない。そのために市場トレンドを先読み・先取りした動きを心掛け、当社製品と冷熱技術をご評価頂き、海外事業展開にご協力頂ける有力代理店の皆さまとの協業・共生体制を一層強化する」と語り、代理店との適温な還流に拍車をかける構えだ。

創業100年を超える長谷川鉄工の海外事業

が盛んな地区での増販営業に動いている。現地ではCC需要が増勢の途にあり、長谷川鉄工シンパの現地代理店の営業力と相まって冷凍機の受注実績が拡大。50台超の大口を含めてユーザー当たり10台以上の受注案件が増えている。同国への今期輸出台数は前年同期比10倍という高伸長率を記録しているという。ベトナムの陸上CC分野に加え、台湾での漁船

用冷凍機の高伸長率を記録しているという。ベトナムの陸上CC分野に加え、台湾での漁船

用冷凍機の高伸長率を記録しているという。ベトナムの陸上CC分野に加え、台湾での漁船

用冷凍機の高伸長率を記録しているという。ベトナムの陸上CC分野に加え、台湾での漁船

用冷凍機の高伸長率を記録しているという。ベトナムの陸上CC分野に加え、台湾での漁船

用冷凍機の高伸長率を記録しているという。ベトナムの陸上CC分野に加え、台湾での漁船

用冷凍機の高伸長率を記録しているという。ベトナムの陸上CC分野に加え、台湾での漁船

用冷凍機の高伸長率を記録しているという。ベトナムの陸上CC分野に加え、台湾での漁船

は歴史が深い。第二次世界大戦前の1921年当時から進出している。まず中国で冷熱プラントや製氷プラント向けに冷凍機を輸出し、1925年には現在の大連市にある製氷施設に製氷能力日産50トの製氷プラントを納入した。これを皮切りに、台湾、朝鮮(現韓国)、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、南洋群島方面へ冷凍機輸出と冷熱プラントや製氷プラントの構築を手掛け、海外事業を軌道に乗せた。その後、1950年代から60年代にかけて東南アジア諸国を中心に冷凍機の輸出事業を拡大。現在は台湾と東南アジアで輸出台数ボリュームがある。北米市場へ進出したのは1990年から。現地法人「HASEGAWA USA」を設立し、冷凍機販売に乗り出した。2000年からは同子会社を自社の支店に組織変更し、直営下で中南米へ販路を拡大。米州では代理店販売による商流に切り替えた06年以降も、代理店経由で各国・地域に冷凍機を供給している。

は歴史が深い。第二次世界大戦前の1921年当時から進出している。まず中国で冷熱プラントや製氷プラント向けに冷凍機を輸出し、1925年には現在の大連市にある製氷施設に製氷能力日産50トの製氷プラントを納入した。これを皮切りに、台湾、朝鮮(現韓国)、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、南洋群島方面へ冷凍機輸出と冷熱プラントや製氷プラントの構築を手掛け、海外事業を軌道に乗せた。その後、1950年代から60年代にかけて東南アジア諸国を中心に冷凍機の輸出事業を拡大。現在は台湾と東南アジアで輸出台数ボリュームがある。北米市場へ進出したのは1990年から。現地法人「HASEGAWA USA」を設立し、冷凍機販売に乗り出した。2000年からは同子会社を自社の支店に組織変更し、直営下で中南米へ販路を拡大。米州では代理店販売による商流に切り替えた06年以降も、代理店経由で各国・地域に冷凍機を供給している。

は歴史が深い。第二次世界大戦前の1921年当時から進出している。まず中国で冷熱プラントや製氷プラント向けに冷凍機を輸出し、1925年には現在の大連市にある製氷施設に製氷能力日産50トの製氷プラントを納入した。これを皮切りに、台湾、朝鮮(現韓国)、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、南洋群島方面へ冷凍機輸出と冷熱プラントや製氷プラントの構築を手掛け、海外事業を軌道に乗せた。その後、1950年代から60年代にかけて東南アジア諸国を中心に冷凍機の輸出事業を拡大。現在は台湾と東南アジアで輸出台数ボリュームがある。北米市場へ進出したのは1990年から。現地法人「HASEGAWA USA」を設立し、冷凍機販売に乗り出した。2000年からは同子会社を自社の支店に組織変更し、直営下で中南米へ販路を拡大。米州では代理店販売による商流に切り替えた06年以降も、代理店経由で各国・地域に冷凍機を供給している。

は歴史が深い。第二次世界大戦前の1921年当時から進出している。まず中国で冷熱プラントや製氷プラント向けに冷凍機を輸出し、1925年には現在の大連市にある製氷施設に製氷能力日産50トの製氷プラントを納入した。これを皮切りに、台湾、朝鮮(現韓国)、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、南洋群島方面へ冷凍機輸出と冷熱プラントや製氷プラントの構築を手掛け、海外事業を軌道に乗せた。その後、1950年代から60年代にかけて東南アジア諸国を中心に冷凍機の輸出事業を拡大。現在は台湾と東南アジアで輸出台数ボリュームがある。北米市場へ進出したのは1990年から。現地法人「HASEGAWA USA」を設立し、冷凍機販売に乗り出した。2000年からは同子会社を自社の支店に組織変更し、直営下で中南米へ販路を拡大。米州では代理店販売による商流に切り替えた06年以降も、代理店経由で各国・地域に冷凍機を供給している。

は歴史が深い。第二次世界大戦前の1921年当時から進出している。まず中国で冷熱プラントや製氷プラント向けに冷凍機を輸出し、1925年には現在の大連市にある製氷施設に製氷能力日産50トの製氷プラントを納入した。これを皮切りに、台湾、朝鮮(現韓国)、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、南洋群島方面へ冷凍機輸出と冷熱プラントや製氷プラントの構築を手掛け、海外事業を軌道に乗せた。その後、1950年代から60年代にかけて東南アジア諸国を中心に冷凍機の輸出事業を拡大。現在は台湾と東南アジアで輸出台数ボリュームがある。北米市場へ進出したのは1990年から。現地法人「HASEGAWA USA」を設立し、冷凍機販売に乗り出した。2000年からは同子会社を自社の支店に組織変更し、直営下で中南米へ販路を拡大。米州では代理店販売による商流に切り替えた06年以降も、代理店経由で各国・地域に冷凍機を供給している。

は歴史が深い。第二次世界大戦前の1921年当時から進出している。まず中国で冷熱プラントや製氷プラント向けに冷凍機を輸出し、1925年には現在の大連市にある製氷施設に製氷能力日産50トの製氷プラントを納入した。これを皮切りに、台湾、朝鮮(現韓国)、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、南洋群島方面へ冷凍機輸出と冷熱プラントや製氷プラントの構築を手掛け、海外事業を軌道に乗せた。その後、1950年代から60年代にかけて東南アジア諸国を中心に冷凍機の輸出事業を拡大。現在は台湾と東南アジアで輸出台数ボリュームがある。北米市場へ進出したのは1990年から。現地法人「HASEGAWA USA」を設立し、冷凍機販売に乗り出した。2000年からは同子会社を自社の支店に組織変更し、直営下で中南米へ販路を拡大。米州では代理店販売による商流に切り替えた06年以降も、代理店経由で各国・地域に冷凍機を供給している。

は歴史が深い。第二次世界大戦前の1921年当時から進出している。まず中国で冷熱プラントや製氷プラント向けに冷凍機を輸出し、1925年には現在の大連市にある製氷施設に製氷能力日産50トの製氷プラントを納入した。これを皮切りに、台湾、朝鮮(現韓国)、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、南洋群島方面へ冷凍機輸出と冷熱プラントや製氷プラントの構築を手掛け、海外事業を軌道に乗せた。その後、1950年代から60年代にかけて東南アジア諸国を中心に冷凍機の輸出事業を拡大。現在は台湾と東南アジアで輸出台数ボリュームがある。北米市場へ進出したのは1990年から。現地法人「HASEGAWA USA」を設立し、冷凍機販売に乗り出した。2000年からは同子会社を自社の支店に組織変更し、直営下で中南米へ販路を拡大。米州では代理店販売による商流に切り替えた06年以降も、代理店経由で各国・地域に冷凍機を供給している。

は歴史が深い。第二次世界大戦前の1921年当時から進出している。まず中国で冷熱プラントや製氷プラント向けに冷凍機を輸出し、1925年には現在の大連市にある製氷施設に製氷能力日産50トの製氷プラントを納入した。これを皮切りに、台湾、朝鮮(現韓国)、インドネシア、ベトナム、フィリピン、マレーシア、南洋群島方面へ冷凍機輸出と冷熱プラントや製氷プラントの構築を手掛け、海外事業を軌道に乗せた。その後、1950年代から60年代にかけて東南アジア諸国を中心に冷凍機の輸出事業を拡大。現在は台湾と東南アジアで輸出台数ボリュームがある。北米市場へ進出したのは1990年から。現地法人「HASEGAWA USA」を設立し、冷凍機販売に乗り出した。2000年からは同子会社を自社の支店に組織変更し、直営下で中南米へ販路を拡大。米州では代理店販売による商流に切り替えた06年以降も、代理店経由で各国・地域に冷凍機を供給している。

南アフリカや欧州向けにも代理店を擁立。漁船用冷凍機の輸出実績がある。特にスペインでは1990年に国内初建造の超低温マグロ漁船向けに代表格モデル、VZ62RM型圧縮機搭載ユニットを納入したことで、当時話題を呼んだ。近年の動きとしては、長年先行実績を築いてきた東南アジアの経済成長に伴う需要深掘り海外事業の市場性を見いだしている。東南アジア以外では、中東のイランでの事業拡大を志向している。

南アフリカや欧州向けにも代理店を擁立。漁船用冷凍機の輸出実績がある。特にスペインでは1990年に国内初建造の超低温マグロ漁船向けに代表格モデル、VZ62RM型圧縮機搭載ユニットを納入したことで、当時話題を呼んだ。近年の動きとしては、長年先行実績を築いてきた東南アジアの経済成長に伴う需要深掘り海外事業の市場性を見いだしている。東南アジア以外では、中東のイランでの事業拡大を志向している。

南アフリカや欧州向けにも代理店を擁立。漁船用冷凍機の輸出実績がある。特にスペインでは1990年に国内初建造の超低温マグロ漁船向けに代表格モデル、VZ62RM型圧縮機搭載ユニットを納入したことで、当時話題を呼んだ。近年の動きとしては、長年先行実績を築いてきた東南アジアの経済成長に伴う需要深掘り海外事業の市場性を見いだしている。東南アジア以外では、中東のイランでの事業拡大を志向している。

南アフリカや欧州向けにも代理店を擁立。漁船用冷凍機の輸出実績がある。特にスペインでは1990年に国内初建造の超低温マグロ漁船向けに代表格モデル、VZ62RM型圧縮機搭載ユニットを納入したことで、当時話題を呼んだ。近年の動きとしては、長年先行実績を築いてきた東南アジアの経済成長に伴う需要深掘り海外事業の市場性を見いだしている。東南アジア以外では、中東のイランでの事業拡大を志向している。

南アフリカや欧州向けにも代理店を擁立。漁船用冷凍機の輸出実績がある。特にスペインでは1990年に国内初建造の超低温マグロ漁船向けに代表格モデル、VZ62RM型圧縮機搭載ユニットを納入したことで、当時話題を呼んだ。近年の動きとしては、長年先行実績を築いてきた東南アジアの経済成長に伴う需要深掘り海外事業の市場性を見いだしている。東南アジア以外では、中東のイランでの事業拡大を志向している。

南アフリカや欧州向けにも代理店を擁立。漁船用冷凍機の輸出実績がある。特にスペインでは1990年に国内初建造の超低温マグロ漁船向けに代表格モデル、VZ62RM型圧縮機搭載ユニットを納入したことで、当時話題を呼んだ。近年の動きとしては、長年先行実績を築いてきた東南アジアの経済成長に伴う需要深掘り海外事業の市場性を見いだしている。東南アジア以外では、中東のイランでの事業拡大を志向している。

南アフリカや欧州向けにも代理店を擁立。漁船用冷凍機の輸出実績がある。特にスペインでは1990年に国内初建造の超低温マグロ漁船向けに代表格モデル、VZ62RM型圧縮機搭載ユニットを納入したことで、当時話題を呼んだ。近年の動きとしては、長年先行実績を築いてきた東南アジアの経済成長に伴う需要深掘り海外事業の市場性を見いだしている。東南アジア以外では、中東のイランでの事業拡大を志向している。

南アフリカや欧州向けにも代理店を擁立。漁船用冷凍機の輸出実績がある。特にスペインでは1990年に国内初建造の超低温マグロ漁船向けに代表格モデル、VZ62RM型圧縮機搭載ユニットを納入したことで、当時話題を呼んだ。近年の動きとしては、長年先行実績を築いてきた東南アジアの経済成長に伴う需要深掘り海外事業の市場性を見いだしている。東南アジア以外では、中東のイランでの事業拡大を志向している。

長谷川鉄工 冷凍機販売、ベトナムで高伸

インドネシアでも事業加速

世界の代理店と協業・共生

「NiCREs」の機械室設置例



経由で大型冷蔵倉庫に採用され、今春2基を納入。派生案件として首都・ジャカルタ都市部に物流の中継局を担うサテライト冷蔵庫を4件新築する。

創業100年を超える長谷川鉄工の海外事業

空調・冷熱業界の海外事業展開特集

20年春季版